

| | |
|------------|---|
| 対象案件 | 北広島市総合計画(第5次)2019推進計画(2019～2020年度)の作成について |
| 意見募集期間 | 平成30年12月15日(土)から平成31年1月15日(火)まで |
| 担当部署(問合せ先) | 企画財政部 企画課 電話 011-372-3311 内3602 |
| 意見提出件数 | 意見提出者数 4 |
| | 意見提出件数 14 |

| 提出のあった意見の概要 | 市の考え方 (案を修正したときは修正内容) |
|--|---|
| <p>【都市公園整備事業(ボールパーク関連)について】</p> <p>・環境調査委託費にJR千歳線北側の環境調査費用も含まれていますか。平成31年度に予定されている環境調査において、JR線北側での調査を実施し建設計画に反映させることが必要と思います。</p> <p>・東西アクセス道路による影響を予測するにあたり、工事段階及び供用段階の各段階において環境影響要因として、どのような項目が想定されており、本環境調査委託費に、それらの項目を含めた予測を行う費用が含まれているのか教えてください。</p> <p>・新球場による影響予測にあたり、検討が可能な資料の作成費用が含まれていますか。また、新球場の工事段階及び供用段階の各段階において環境影響要因として、どのような項目が想定されており、本環境調査委託費に、それらの項目を含めた予測を行う費用が含まれているのか教えてください。</p> | <p>・今回の調査区域にはJR千歳線北側の区域は含まれておりません。JR線北側ルートではJR線を横断する必要性がありますことから、工期が相当期間必要となることや、工事費も増嵩することが想定され、環境調査結果に配慮しながら現計画で進めてまいりたいと考えております。</p> <p>・工事は2020年度からの実施を予定しておりますが、工事中のモニタリング調査や供用段階での事後調査につきましては、今回実施しております調査結果やアドバイザー等の意見も参考にしながら今後検討してまいります。</p> <p>・新球場の建設にあたっては、ボールパーク計画の推進を担っております(株)北海道ボールパークと設計・施工を担当する大林組グループ(大林組社、HKS社)、両者により諸々の検討が進められているものと考えております。</p> |

| 提出のあった意見の概要 | 市の考え方 (案を修正したときは修正内容) |
|---|--|
| <p>【市道整備事業(ボールパーク関連)について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境調査アドバイザーの謝礼金は何名分、何回分が計上されているのか。可能な範囲で、肩書、氏名、回数等を教えてください。 ・アクセス道路とJR千歳線との交差が2023年までに間に合う間に合わないを問わないのであれば、費用対効果の観点から、東西アクセス道路はJR千歳線の北側で検討すべきと考えますが、市の見解を伺いたく思います。 | <ul style="list-style-type: none"> ・2名、2回分を計上しております。肩書につきましては大学の先生にお願いしておりますが、氏名については非公表としております。 ・市としては、北海道日本ハムファイターズの新球場開業予定の2023年春までに東西アクセス道路を完成させることは必須であると考えております。 |

| 提出のあった意見の概要 | 市の考え方 (案を修正したときは修正内容) |
|--|---|
| <p>【ボールパーク構想推進事業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道道栗山北広島線を片側3車線にできないか。 ・BP建設地から道道栗山北広島線へ繋ぐ道として、レクの森東側に短い新設道路を作れないか。 ・新たな交通手段としてモノレールを設置できないか。 ・正面がガラス面では熱を逃がしてしまうのではない か。また、ガラス面へのバードストライクが懸念される。 ・冬季間の利活用として、雪合戦、スキーやスノーボード、雪中ラグビーや雪中サッカーなどの大会を、隣接する小球場で開催できないか。 ・木育マイスター、花マイスター、自然愛好会の方々の協力により、鑑賞に来たくなるような景観作りができないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボールパーク構想に係るアクセス道路につきましては、事業費や渋滞対策、災害時における経路などを考慮し計画しているところであります。道道栗山北広島線につきましては、大曲方向からの交通需要には対応可能ですが、西の里方面の交通需要には対応できないことから難しいものと考えております。 ・レクの森は、林野庁が全国の国有林の中で、山岳、湖沼などと一体となった美しい森林や野外スポーツに適した森林を「レクリエーションの森」に選定し、広く国民に森林レクリエーションの場として提供しているものであります。道路計画にあたっては、道路予定地の土地利用状況や、事業費、事業期間及び渋滞対策などを総合的に考慮した結果、レクの森の東側の道路新設は難しいものと考えております。 ・現在のJR北広島駅からボールパーク(新球場)までの間は、シャトルバスを運行する計画ですが、来場者の輸送の観点からは様々な手法が考えられているところで す。 シャトルバス以外の輸送手段についての調査も進めて おります。 ・スタジアムの設計や機能については、施工業者と(株)北海道ボールパークとの間で現在細部にわたり検討が進められております。新球場正面のガラス面(グラスウォール)につきましても、様々な面から同様に検討が進められているところ です。 ・ボールパークエリア内には新球場のみならず、様々な周辺施設が建設されていく予定です。 野球シーズン以外の冬季間におけるボールパークの活用については、北海道における冬の魅力を存分に楽しんでいただく各種取組含め、現在、(株)北海道ボールパークが検討を進めております。 ・市内には様々な活動をされている方がおり、例えば、ボランティア活動を通じて、市民の皆様が何かしらの形でボールパーク構想に関われる方策について検討して まいります。 |

| 提出のあった意見の概要 | 市の考え方 (案を修正したときは修正内容) |
|---|---|
| <p>【ボールパーク関連事業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算額がけた違いに大きいため、今後の事業による収入財政に不安があります。子どもたちが将来負担することになるのではないかと疑問に思います。 ・早期に周辺道路整備に向け急ぐことで、全ての国民の財産である天然記念物野幌原始林などの自然環境を壊す懸念をしています。ボールパークの構想である自然と共存を、北広島市の事業でも未来のために、妥協せず実行してほしいです。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市の財政についてはボールパークに限らず、収入支出を精査しながら将来に渡って持続可能なものとなるよう推計を立てて進めております。 ボールパーク構想にかかるインフラ整備では市債の発行も行われる予定ですが、他の公共事業(例えば道路や公園)も同様であり、ボールパークについても高年次までその効果は享受できるものと考えておりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。 ・自然との共存につきましては、北海道日本ハムファイターズが本構想を発表した当初からも掲げられており、また、当市においてもその考えを持ちながら事業を進めてまいります。 |

| 提出のあった意見の概要 | 市の考え方 (案を修正したときは修正内容) |
|--|--|
| <p>【高等学校等生徒交通費助成事業について】</p> <ul style="list-style-type: none">・新規事業で計画されています「高等学校等生徒交通費助成事業」について支持いたします。市内にはレベルの差がある2校しかなく、市外の学校を選択せざるを得ない状況のためです。 | <ul style="list-style-type: none">・高等学校等生徒交通費助成事業につきましては、高校生等が自分の行きたい学校を選択できるよう、通学にかかる交通費に対し助成することで、保護者の負担を軽減してまいりたいと思います。 |